

講義科目名称：認定語学研修2

授業コード：

授業科目の区分等：専門教育科目 選択必修科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
集中	1 年	1	選択
担当教員			
レイツ・中村 雅典			
G (現代ビジネス学科)	S (専門科目)	LG (語学・言語学)	111 (基礎・入門科目)

授業のねらい（概要）	この科目は、研修先で様々な活動を通し、①「基礎的な英語力（聞く、話す、読む、書く、やり取り）」を高めます。また、滞在先の習慣、文化、歴史への理解を深め、②「多種多様な考え方や価値観を理解し、それらの多様性に対する受容力」を伸ばすことも目的としています。 研修中は、提携先での授業はもちろんのこと、ホームステイやドミトリー経験による多文化交流、フィールドワークなどの課外活動からGlobal Citizenの一員として意識を持ち、グローバルな視野と価値観を高めます。単位認定のため、原則として45時間以上の研修や活動への参加が求められます。
授業計画	各回の語学研修（研修中） 研修先で様々な活動を通し、①「基礎的な英語力（聞く、話す、読む、書く、やり取り）」を高め、滞在先の習慣、文化、歴史への理解を深め、②「多種多様な考え方や価値観を理解し、それらの多様性に対する受容力」を伸ばす。 予習：研修先で必要な予習を行う。（各回30分） 復習：研修先で必要な復習を行う。（各回30分） 英語スピーキングテスト（研修後） 「基礎的な英語力（聞く、話す、読む、書く、やり取り）」を測る英語面接を行う。 予習：面接で問われる質問事項に目を通し準備をしておく。（30分） 復習：面接でうまく伝えられなかったことをまとめる。（30分） 研修報告プレゼンテーション（研修後） 課題レポート「グローバルな視野と価値観」をベースに、プレゼンテーションを行う。 予習：プレゼンテーション資料を作り、発表の準備をする。（30分） 復習：プレゼンテーションのフィードバックを活用し、リバイズする（30分）
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	DP4に該当「基礎的な英語力（聞く、話す、読む、書く、やり取り）を有し、グローバルな視野と価値観を身に着けている」 身につくスキル：グローバルな視野、主体性、発信力
到達目標	現地での研修・活動を通して・・・ ①CEFR指標のB1レベルに達することができる。具体的には、仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。 ②現地での研修生活を通して、現地の習慣、文化、歴史などを理解し、グローバルな視野と価値観に関して自分の主張を報告できる。
課題や小テスト等のフィードバックの方法	提出課題については、修正点・注意点などを記入の上、返却します。
履修上の注意	①提携先により、英検やTOEICなどの入学基準点が設けられている場合があります。そのため、事前にそれらの資格を受験すること、そして、帰国後にも英語力を測るため、各種英語検定試験の受験を参加の条件とします。 ②研修中は、Mellyを通し、定期的な活動報告レポートの提出が求められます。また研修終了後には、研修終了報告書の提出が求められ、担当教員と面接が必要となります。単位認定は教務課で行います。 ③現地までの交通費、現地での滞在費や授業料、海外保険などの諸経費は、参加者負担となります。また、研修への取り組みや姿勢において問題がある場合は、担当者の判断により中断する場合があります。
成績評価の方法・基準	・現地活動報告レポート（研修中）：30% ・英語スピーキングテスト（研修後実施）：30% ・課題レポート「グローバルな視野と価値観」（研修後提出）：30% ・研修報告プレゼンテーション（研修後実施）：10%
教科書	必要に応じて資料を配布予定
参考書・教材	必要に応じて資料を配布予定
備考	
教員との連絡方法	メール、Melly、オフィスアワー